

# CASBEE 新築 [簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クラシオン白山	階数	地上7F
建設地	福岡県北九州市若松区白山1丁目367-2他	構造	RC造
用途地域	第1種住居専用地域	平均居住人員	88人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年7月 0.0	評価の実施日	2012年1月21日
敷地面積	1,384 m <sup>2</sup>	作成者	木幡 悟
建築面積	472 m <sup>2</sup>	確認日	2012年1月28日
延床面積	2,358 m <sup>2</sup>	確認者	木幡 悟



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

環境品質 Q (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算: 建設, 修繕・更新・解体, 運用, オンサイト, オフサイト

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境 (敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	2.8
温熱環境	2.4
光・視環境	3.4
空気環境	3.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.3
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.6

生物環境	2.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	1.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

建物の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.7
効率的運用	N.A.

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.9

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	4.1
汚染物質回避	3.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化への配慮	4.1
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	2.8

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 入居者や周辺住民の幅広い年代に対し、長きにわたり魅力ある施設を提供し、周辺の閑静な住環境に対する配慮や周辺地域の居住環境の向上に努める。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 入居者が快適に生活を送れるよう、住戸間の遮音に配慮するほか、建物の外気に面する部分の断熱性能を高めるとともに、全住戸南からの自然採光がとれるように住棟を配置している。	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体の耐用年数を高め、維持管理のしやすい仕上げ材料を使用するなど、建物の長寿命化に配慮している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 南側の道路を挟んで住宅が近接しており、住宅への視線に配慮するほか、住宅からの景観が良好なものとなるように仕上げ材や植栽計画に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギーに寄与する、建物の断熱性能を高めるよう、断熱材の厚みや使用箇所にも配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 限りある資源を有効に利用するため、リサイクル材をできるだけ使用するとともに、室内環境や地球環境に有害な物質を使用しないよう配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特に北側への日照に配慮した配置計画を行い、周辺への良好な環境を確保するよう努める。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい